

2022年10月27日  
京都府福知山市

## ゼロカーボンシティへの挑戦!

# 環境に優しいごみ袋への切り替え

～「燃やすごみ専用指定袋」へのバイオマスプラスチック配合について～

京都府福知山市では、ゼロカーボンシティへの挑戦、温室効果ガス削減への新たな取り組みとして、バイオマスプラスチックを配合した「燃やすごみ専用指定袋」を作製し、令和4年11月から順次切り替えていきます。

### 概要

これまでのごみ袋は、石油由来プラスチック100パーセントで作製していたのに対し、新たに作製したごみ袋は、植物由来のバイオマスプラスチックを25パーセント配合しています。

#### 【バイオマスプラスチックとは】

原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するプラスチックのことをいいます。

本市が作製するごみ袋は、サトウキビの搾汁から砂糖を精製した残液部(廃糖蜜)から作られるバイオエタノールを原料とする「バイオマスポリエチレン」というバイオマスプラスチックを使用しています。



バイオマスプラスチックを配合することで、プラスチックの生成に必要な石油資源の消費を抑制するだけでなく、CO<sub>2</sub>排出量の削減効果があるため、環境への負担を減らすことができます。

#### 【バイオマスプラスチック25パーセント配合時のCO<sub>2</sub>削減効果について】

令和4年度に作製するごみ袋によって、**約42tのCO<sub>2</sub>削減効果**があります。

●令和4年度 指定ごみ袋作製枚数 2,640,000枚 総重量53,638kg

●石油由来100パーセントの場合のCO<sub>2</sub>排出量

<計算方法> 53,638kg×3.14kg-CO<sub>2</sub>/kg≒168,423kg-CO<sub>2</sub>

●バイオマスプラスチック25パーセント配合時のCO<sub>2</sub>削減効果

<計算方法> 168,423kg-CO<sub>2</sub> (石油由来100パーセントの場合のCO<sub>2</sub>排出量)×25パーセント  
≒42,105kg-CO<sub>2</sub> (約42t-CO<sub>2</sub>)

※植物由来のバイオマスプラスチック焼却時のCO<sub>2</sub>排出量は、植物育成時に吸収しているCO<sub>2</sub>と相殺されて0kgとなります。(京都議定書より)

※1kgあたりのポリエチレンのCO<sub>2</sub>排出量(3.14kg-CO<sub>2</sub>/kg)は環境省の3R原単位の算出方法による。

## 店頭販売予定時期

新たな素材の「燃やすごみ専用指定袋」は、11月から順次店頭に並びます。  
(既存のごみ袋が販売された後に並ぶため、店舗により時期は異なります。)

なお、バイオマスプラスチックを配合することに伴う、販売価格の変更はありません。

### 【販売価格】

大きさ	販売価格(10枚入り)
大型(45L)	440円(税込み)
中型(30L)	330円(税込み)
小型(20L)	165円(税込み)

## バイオマスマークの表示について

切り替わったごみ袋には、バイオマス由来の製品であることを認証する「バイオマスマーク」が表示されています。

※一般社団法人日本有機資源協会による  
認証を受けたことを示すマークです。



このごみ袋の原料に植物由来プラスチックを25%以上配合することで「石油資源の節約」「温室効果ガス排出量削減」など環境負荷低減に取り組んでいます。

ごみ袋にはバイオマスマークと啓発文を印字

### 【本件に関するお問合せ】

福知山市役所 市民総務部 生活環境課 環境・廃棄物対策係 担当：吉村・辻原  
TEL：0773-22-1827 FAX：0773-22-4881  
E-mail：kankyou-park@city.fukuchiyama.lg.jp